

今年度の目標は **専修免許状取得** に決めた

星槎大学の免許法認定通信教育

文部科学省認定

専修免許状に 上進！

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（知的障害者に関する教育）の一種免許状を専修免許状に上進できます。

すべて自宅で 学修！

テキスト学修、レポート提出、科目修得試験の全てが自宅が可能。スクーリングはありません。

1科目から 受講可能！

学びたい科目を自由に選択。1科目から申込み、最大6科目まで受講可能です。

免許法認定通信教育（文部科学省認定）とは？

免許法認定講習・公開講座・通信教育とは、一定の教員免許状を有する現職教員の方が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている講習・公開講座です。

教員免許状を取得するためには、原則として大学等において学士の学位等の基礎資格を得るとともに、教職課程において所定の単位を修得することが必要です。

しかしながら、教員の資質の保持・向上のため、現職の教員等がすでに所有している免許状を基にして、一定の在職年数と単位取得によって上位の免許状などを取得する方法も開かれており、免許法認定講習・公開講座・通信教育はこのために設けられている制度です。（文部科学省Webサイトより抜粋）



試験日程

2021年

7月25日（申込期限：6月25日）
8月28日（申込期限：7月28日）
9月26日（申込期限：8月26日）
11月28日（申込期限：10月28日）
12月25日（申込期限：11月25日）

2022年

1月23日（申込期限：12月26日 ※年内で申込締切り）
2月26日（申込期限：12月26日 ※年内で申込締切り）



■ 受講環境

受講にはインターネット環境を有したパソコンが必要です。
WEBカメラは不要です。
推奨環境は以下の通りですのであらかじめご確認の上、お申し込みください。

【OS】Windows 8 / 10、Mac OS X (10.9以上)
【ブラウザ】Chrome, Firefox, safari, Microsoft Edge
【ソフト】Microsoft Word

専用学修サイトへログインし、動画視聴、ワードによるレポート・試験作成、PDFファイル・ワードファイルのアップロードとダウンロードを行います。

■ 受講料

1科目（4単位）50,000円（テキスト代別）

該当の免許状での教職経験年数が3年以上の方は、裏面のいずれか4科目（16単位）の単位修得で専修免許状への上進が可能です。

専修免許状申請に必要な「学力に関する証明書」の発行は別途手数料（1通300円）がかかります。

お申込み・詳細はこちら

<https://gred.seisa.ac.jp/other2/nintei/>



発達臨床実践特論 (R3認定通信) 【小・中・高・特支】

発達障害 (学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症スペクトラム、知的発達障害等) の児童生徒に対する指導方法について、WISC-IVによる特性理解やそれに基づいた指導の在り方について具体的事例を挙げながら論及する。インクルーシブ教育システムを構築していくための取り組みは始まったばかりだが、基本的な方向性は障害のある子どもにも障害のない子どもも、それぞれの教育的ニーズに応じた支援を受けることにある。そのような観点から、通常学級にいる発達特性上さまざまな困難を抱える児童生徒を支援する方法について考察する。

教育のユニバーサルデザイン特論 (R3認定通信) 【小・中・高・特支】

教育のユニバーサルデザインとはより多くの子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。本科目では、おもに①通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくり、②合理的配慮 (知的障害、学習障害、LD、ADHD 等への支援を含む) と教育のユニバーサルデザインの融合による支援のあり方、③ユニバーサルデザインに関わる教育の動向 (海外も含む) 、に関して検討・考察する。

学級経営・学校経営特論 (R3認定通信) 【小・中・高】

学級経営、学校経営の今日的な課題をとらえ、教育目標の達成を目指す組織的計画的な運営及び学びの場における相互関係の形成について理解する。学びの場における相互関係は、「主体的対話的で深い学び」を通じて、これからの時代に求められる「資質・能力」を育成する基盤である。一人一人の自立と成熟を支える集団の形成と維持・向上に求められる知識・技能・態度について理解し、「学びに向かう集団」を育む組織運営の観点から学級経営・学校経営について考察する。

教育社会学特論 (R3認定通信) 【小・中・高】

教育や何らかの事象を測る際、そこに個々の違い (差異) があります。「差異」に優劣がつき、その差異が問題とされ、その問題は是正されるべきと見なされた時、その「差異」は「格差」と呼ばれます。本科目では、現代の教育を捉える上で「教育格差」という観点を切り口に考えます。前半では、教育格差という問題にまつわる教育社会的な考え方を学修し、後半では、教育格差の各学校段階別の実態、学校間での関わりを学修していきます。最終的には、「自身の身の回りにおける教育格差の問題は何か」を考え、自身で何らかの解決の糸口を見だし、または実態に基づき、自身でできることを考えていきます。

カリキュラムデザイン特論 (R3認定通信) 【小・中・高】

本科目では、新学習指導要領の主要な柱である「主体的・対話的で深い学び」及び「カリキュラム・マネジメント」に焦点を当て、主に以下の3点について学んでいきます。①学習指導要領改訂のもととなった中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について (答申)」 (平成28年12月21日) の内容について復習する。②「主体的・対話的で深い学び」に資する協同学習を実現するための基礎的事項を学習するとともに、協同学習をデザインする。③「カリキュラム・マネジメント」に資する授業研究の理論的事項や事例について学習するとともに、授業研究の方法を提案する。

学校教育相談特論 (R3認定通信) 【小・中・高】

小・中・高等学校で教諭・養護教諭が中心になって行われている教育相談活動 (学校教育相談) に焦点を合わせ、理論や歴史、スキル等について実践に結びつく理解を深める。特に心理社会面や健康面のみならず進路面や学習面への効果的な援助や、スクールカウンセラーを含む校内協働体制、校外専門機関との連携等のあり方を実践を前提に追究する。またアメリカやヨーロッパ、東アジア等のスクールカウンセリング実践を紹介し、日本の学校教育相談の特徴や今後の展望について比較的に考える。

認知教育特論 (R3認定通信) 【小・中・高・特支】

本科目では、認知と発達をキーワードに、読むこと、書くこと、数の理解と計算の発達過程について学び、知的障害を含む発達障害のある子どもを中心に、学習上のつまずきに対応した支援方法を検討できる力をつけることを目指す。ここでは、読むこと、書くこと、数と計算という教科教育の基本となる認知能力に焦点をあて、国語と算数の学習支援のあり方について、最新の知見を踏まえて、研究を深めることを目標とする。この科目をとおして、知的障害を含む発達障害のある子どもだけでなく、すべての子どもを中心におき、教育の公正性とインクルーシブ教育について、理解を深めることを期待する。

行動障害臨床特論 (R3認定通信) 【小・中・高・特支】

発達障害は、言語や読み書き計算などの認知発達の遅れを特徴とする。それらの発達が遅れると、社会性の遅れも同時に見られることになり、また、適切な行動を獲得していけないと、コミュニケーション機能を持つ「問題行動」を誤学習することが予想され、その結果、強度行動障害と呼ばれる状態にもなりえる。「問題行動」を誤学習させず、適切な行動やスキルを学習させていくことを目指していくことは、障害のあるなしに関わらず、重要なことである。本科目では、応用行動分析学に基づいた指導法を学ぶことによって、発達障害のある人達への合理的な教育支援方法を修得していくことを目指している。



一目置かれる先生になる、努力は形に、専修免許状取得

最近うまくいかず、先が見えない、、、校内での立ち位置に疑問、、、意欲と評価がマッチしていないと感じたなら、知識と意欲を専修免許状にして「専門性のある」先生になりませんか。

常に前に進み続けたい、生徒に負けずに進みたい先生へ、コンパクトに学べる専修免許状取得のための通信教育をお勧めします。大学院の学びを先取りして、未来の教室を創りましょう。

お問い合わせは、E-mailにて



星槎大学大学院 横浜キャンパス

E-mail : nintei@seisa.ac.jp

<https://gred.seisa.ac.jp/>

FAX : 045-212-0721

